

議事録名		第4期 第37回 地方独立行政法人筑後市立病院理事会
日 時		2026年7月24日（金）16時30分～17時50分
場 所		筑後市立病院 新館2階 大会議室
構成員	出席者	高森 ^{理事長兼院長} 、中村 ^{副理事長兼副院長} 、佐藤 ^{理事} 、馬場園 ^{理事} 、川野 ^{理事} 、 下川 ^{理事兼看護部長}
	欠席者	なし
その他の参加者	出席者	馬場 ^{監事} 、木庭 ^{監事} 、友枝 ^{副院長} 、城戸 ^{薬剤部長} 、松下 ^{診療技術部長} 、菅原 ^{事務局長} 、 荒谷 ^{医事課長} 、金子 ^{人事統制課長} 、松本 ^{企画管理課長} 、川原 ^{総務課主任} 、大淵 ^{総務課職員}
	欠席者	東 ^{総務課長}
報告事項 (1)		経営状況等（2026年6月分）および2026年度診療報酬改定の影響について
	概 要	総務課及び企画管理課より、2026年6月分の収支状況、診療状況、診療報酬改定による試算と実際の影響額（物価対応料、ベースアップ評価料、救急受入等による影響）について報告した。
	特記事項	・佐藤理事より、経営状況報告の視点や分かりやすさについて提言がなされた。「診療報酬改定による影響（試算と実績の差異）」と「患者動向や病床利用率の変動要因」を明確に整理・区分して説明することで、より経営課題が明確化しやすくなる旨の意見が出され、報告形式の工夫が求められた。 ・馬場園理事より、国の「新しい地域医療構想」や医療・介護連携の方針を踏まえ、5年後を見据えた未来志向の経営戦略の必要性が提言された。特に、急性期機能の絞り込み、地域包括医療病棟の活用、高齢者施設（有料老人ホーム・サ高住等）との連携強化、かかりつけ医機能や訪問看護の拡充など、地域の潜在的ニーズに応える具体的な戦略を議論すべきとの意見が出された。 ・事務局より、理事からの意見を踏まえ、今後は改定影響等のトピック、テーマを注視し、患者動向や傾向等論点を明確にできるような分かりやすい説明に努め、継続して状況を共有していく旨を回答した。
その他		病院における業務効率化・適正配置等の検討について
	概 要	川野理事より、患者利用状況に応じた最適な人員配置のあり方、業務プロセスの見直し、設備・システム導入による効率化推進などについて提案され、意見交換が行われた。

	特記事項	・川野理事より、病床利用状況に応じた病棟運用の工夫や、手作業工程への省力化機器の導入検討、外来業務の平準化など、病院内部で取り組める業務効率化策を積極的に進めるべきとの提案がなされた。 ・下川理事より、看護職員の「月 72 時間夜勤要件」への適応や、多様な勤務スタイル（育児・病気休暇等への配慮）、時差勤務の活用など、現場における人員運用上の工夫と現状の取り組みについて説明がなされた。 ・佐藤理事より、一般産業界の先進事例や DX（事前予約システムやスマホ問診の活用、待ち時間削減など）の視点を採り入れ、患者様の利便性向上と職員の働きやすい環境づくりを両立させていく重要性が述べられた。 ・馬場園理事より、業務効率化の推進と並行して、訪問看護やリハビリをはじめとする地域の潜在的な医療・介護ニーズに応え、地域から選ばれる病院作りを推し進めることが重要である旨が述べられた。
確認事項 (1)		・今後の日程等について
	概 要	第 38 回（定例会）は 2026 年 8 月 28 日（金）13：30、 第 39 回（定例会）は同年 9 月 25 日（金）13：30、 第 40 回（定例会）は同年 10 月 23 日（金）の 13：30 開催。